日本古代中世史研究

選択　　2単位

佐伯　智広

1. 授業の概要（ねらい）

　学術論文の執筆のためには、先行研究を批判的に検証し、適切な課題を設定する能力が不可欠である。本授業では、日本古代中世史に関する学術論文を具体的に取り上げ、当該論文中に引用されている史料・先行研究を検証し、内容の精読を行う。

2. 授業の到達目標

先行研究の内容を適切に把握する読解力を身に付ける。
史料・先行研究の収集力を身に付ける。
日本中世史の研究状況を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表30%
討論での発言20%
期末レポート50%

4. 教科書・参考文献

教科書
なし
参考文献
なし

5. 準備学修の内容

発表担当者は、対象論文の要約と、引用文献・史料の収集を、事前に行う必要がある。
それ以外の受講者は、対象論文の熟読を事前に行う必要がある。

6. その他履修上の注意事項

対象論文は日本古代・中世史に関する学術論文に限定される。

7. 授業内容

【第1回】　授業の進行についてのガイダンス
【第2回】　対象論文の提出と選択理由の発表
【第3回】　先行研究への批判的考察に関する討論（オンライン回）
【第4回】　対象論文の要約発表1
【第5回】　対象論文の要約発表2
【第6回】　対象論文の要約発表3
【第7回】　対象論文の引用文献に関する発表1
【第8回】　対象論文の引用文献に関する発表2
【第9回】　対象論文の引用文献に関する発表3
【第10回】　対象論文の引用史料に関する発表1
【第11回】　対象論文の引用史料に関する発表2
【第12回】　対象論文の引用史料に関する発表3
【第13回】　対象分野の研究状況と課題についての発表1
【第14回】　対象分野の研究状況と課題についての発表2
【第15回】　対象分野の研究状況と課題についての発表3